

2024 第 2 回東京都小・中学生オープン大会 プログラム



期 日 2024年10月13日（日曜日）

会 場 夢の島公園アーチェリー場

主 催 東京都アーチェリー協会

●大会役員

競技委員長	小杉 理加
DOS	牧内 みどり
副DOS	坂本 円
審判長	堀 浩一郎
審判員	小沼 和広
審判員	松浦 寛
審判員	清水 憲彬
審判員	稲増 博
審判員	小林 保照
審判員	黒石 訓久
審判員	中田 光俊
審判員	山野辺 義久
審判員	野村 伸子
大会総務	湯浅 修
記録長	池澤 かおり
記録員	松田 光太郎
記録員	野村 遥

●スケジュール * 競技の進行状況により、時間は前後致します

8 : 0 0	開場・開場準備 開場設営のご協力お願い致します
8 : 3 0 ~ 9 : 0 0	受付 全日本アーチェリー連盟の会員は、会員証の確認がありますので、受付時に準備下さい
9 : 1 0 ~ 9 : 1 5	開会式 競技上の注意
9 : 1 5 ~ 9 : 2 0	用具検査 A B 立はシューティングライン C D 立はウェイティングライン
9 : 2 0 ~ 9 : 3 5	練習 2 回 AB立CD立矢取り、CD立AB立矢取り
9 : 4 0 ~ 1 1 : 1 5	前半の競技 以降AB立CD立矢取り、CD立AB立矢取りの繰り返し スコアカードは全半分のみ審判員へ提出して下さい
1 1 : 1 5 ~ 1 1 : 3 5	休憩 的の移動がありますので、ご協力お願い致します
後半競技開始5分前	この時間までに会場へお戻り下さい
1 1 : 4 0 ~ 1 3 : 1 5	後半の競技（練習はありません）
1 3 : 4 0 ~ 1 3 : 4 0	競技終了 スコアカードと端末を審判員へお渡しください 会場の撤収にご協力お願い致します
1 3 : 4 0 ~ 1 3 : 5 0	閉会式、表彰式 解 散

● 競技上の注意

・ 競技規則と安全管理

この競技は『全日本アーチェリー連盟競技規則2024～2025』および東京都アーチェリー協会の『競技運営安全管理規程』を適用します。

競技会場、的後方築山ロープ位置より、その後方を危険ゾーンと定めます。

危険ゾーンに矢を射ち込んだ選手については、審判長または競技委員長より即刻競技の続行中止を申し渡します。

危険ゾーンに射ちこまなくても、たびたび的を外す選手、引き分けの際矢先が上を向いていて、注意しても引き方に改善が見られない選手にも、同様に競技の続行中止を申し渡しますので、ご注意ください。

・ 矢の管理

畳から矢を外した選手は、すぐに審判員に申し出てください。また、外した矢を回収した際にも、必ず審判員に申し出てください。外した矢がすべて回収され、そのことを審判員が確認しないうちは、競技は中断されたままになります。ご注意ください。

競技中の、クイバーに入れる矢の本数を1エンド目にスコアカードに記録（2枚）し、矢取りから戻る前に必ず矢の本数を確認してください。本数が足りない場合は、速やかに審判員へお知らせ下さい。

最終エンド終了時に、スコアカードの矢の本数と、クイバーの矢の本数を確認して下さい。

・ 行射

練習は3射90秒で2回行います。本数無制限ではありませんのでご注意ください。

コーチの方は、選手近くで指導可能です。

競技は3射90秒、AB立・CD立 矢取り、CD立・AB立 矢取りの繰り返しで行います。

コーチの方は、WL(ウエイティングライン)まで進み、指導可能です。

・ 点数管理

採点は相互採点にておこないます。消せない油性の黒色ボールペンで丁寧に記入してください。得点の訂正をする際は、線を引いて書き直し、自分を含め同次の選手全員のサインを記入してください。サインのない得点の変更は無効となりますので、ご注意ください。なぞり書きも修正の対象となりますので、ご注意ください。

またスコアカードを提出する際は、合計点、10点数（Xの本数を含みます）、Xの数、選手およびスコアラのサイン等の記入漏れの無いようにしてください。合計点の記載がない場合は、得点は0点となります。10点およびXの数の記載がない場合は0本となります。

電子集計システム・イアンセオを使用いたします。集計端末のスコアは、もう一つのスコアカードとなりますので、手書きのスコアカードと素点・合計点の違いの無いように、同次の選手と確認しながら、確実に入力してください。不明点は、近くの審判員へお尋ね下さい。

前半終了時手書きのスコアカードを回収します。矢の本数を、後半用のスコアカードに書き移してください。後半終了後は端末と一緒にスコアカードを回収致しますので、別々にならないようご注意ください。

本日は競技終了後に確認用の成績を発表し、異議申し立ての時間を設けます。異議申し立て時間終了後の得点に関する疑義は受け付けませんので、選手の皆さまはご注意願います。

■■■スコアカードの書き方■■■

1. スコアカードに射った矢の得点(素点という)を記入するときは、必ず高い得点から書きます。
2. 相互採点を行う際には、自分のスコアカードを同次の選手に渡し、自分の矢の得点を読み上げます。得点を記入する選手は、読み上げた得点が間違いないか確認し、スコアカードに間違いに記入します。
3. 水や汗で字がにじまないように、黒色か青色の油性のボールペン使ってください。絶対に赤色は使用しないでください。
4. 素点を誤って記入した際には、必ず矢を抜く前に訂正をしてください。矢を抜いた後では、訂正はできません。

誤った点数のみ線を引き、正しい点数に書き直してから、同次の選手のサイン(イニシャルでも可)を余白に書いてください。

審判員に訂正してもらっても構いません。

<訂正の仕方>

	1	2	3	3射計	6射計
T.K	10	9	8	27	
廣木	9	8	8	28	
牧内	10				
小杉					

合計点の訂正はサインは必要ありません

5. 次のような場合は、訂正が必要となります。
 - ① ボールペンがかすれたため、上からなぞり書きをした。

<例> 3

- ② 数字を無理やり他の数字に書き直した。

<例> 3 7 6

6. 数字は丁寧に記入してください。

1 → ○ 1 × 7 7と見分けがつかない

7 → ○ 7 × 7 1と見分けがつかない

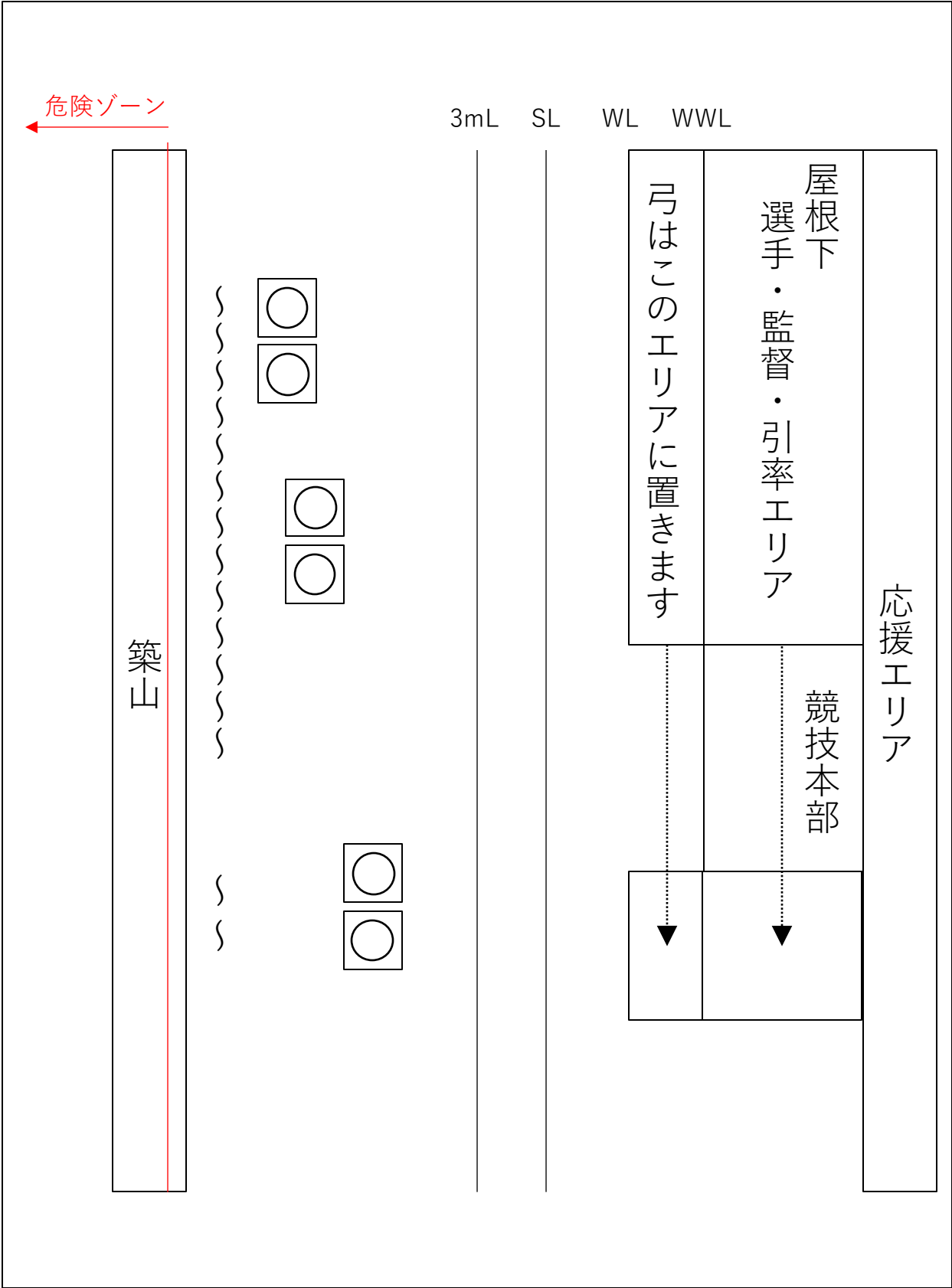
9 → ○ 9 × 4 7と見分けがつかない

M → ○ M × m

X → ○ X × x x

7. 競技が終了したら、選手名、採点者名、合計点、10点本数、X点本数などの項目をすべて記入します。提出する前に必ず合計点の間違いがないか確認してください。間違っても低い点数を記入していても正しい得点に訂正してはもらえません。

また、故意に高い点数を記入したり、点数の書き換えを行った場合は、失格となることもあります。



● 大会写真利用について

本大会では、写真や映像の撮影を致します。撮影した素材は、大会パンフレットや東京都アーチェリー協会ホームページ等で利用する可能性があります。

● 問い合わせについて

本大会に関する問い合わせは下記へお願い致します。

東京都アーチェリー協会

普及育成部 堀 浩一郎

Mail : tokyo.archery.fukyu@gmail.com

大会情報配信

QRコードよりサイトにアクセスして下さい
立ち順、大会成績の確認が可能です。



同URL

<https://www.ianseo.net/Details.php?told=19046>

イアンセオ配信サイト